



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日
東

上場会社名 アキレス株式会社 上場取引所
 コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日景 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統轄補佐 (氏名) 河野 和晃 (TEL) 03-5338-8238
 兼経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,596	△2.8	△435	—	△178	—	△182	—
2023年3月期第1四半期	19,132	7.6	△57	—	331	△23.1	133	△41.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 114百万円(△87.4%) 2023年3月期第1四半期 907百万円(35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△12.19	—
2023年3月期第1四半期	8.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	84,351	45,324	53.7	3,056.04
2023年3月期	86,220	46,206	53.6	3,058.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 45,324百万円 2023年3月期 46,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,500	△5.6	△1,000	—	△800	—	△300	—	△20.13
通期	82,500	△0.5	0	—	400	—	400	—	26.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	15,362,714株	2023年3月期	15,362,714株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	531,541株	2023年3月期	256,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	14,975,097株	2023年3月期1Q	15,601,083株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格・エネルギーコストの上昇や世界的なインフレ進行などにより、欧米を中心に緩やかな減速傾向となりました。

日本経済も、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動の正常化に伴う回復が見られたものの、原材料価格・エネルギーコストの上昇や為替レート的大幅な変動など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウン、省エネルギーおよび廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、価格改定を含め、売上高18,596百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

営業損益は、原材料価格・エネルギーコストや円安の影響等への対応として、一層のコストダウン活動や価格改定を推進いたしました。435百万円の営業損失（前年同四半期は57百万円の営業損失）となりました。

経常損益は、営業外収益に為替差益等の計上がありました。178百万円の経常損失（前年同四半期は331百万円の経常利益）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、182百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同四半期は133百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社は主に企業向けの中間財と最終消費者向けの消費財を製造、販売しております。消費財がもつ当社のブランド力を中間財の拡販に有効活用していくためにも、今後、消費財への注力は重要との観点から、消費財・中間財に区分して記載しております。

<シューズ事業>

【消費財】

世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS（ブルックス）」はブランド認知度が高まり好調に推移しましたが、その他の商品群が伸び悩み、前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は2,457百万円と前年同四半期に比べ130百万円の減収（前年同四半期比5.1%減）となりました。

セグメント損失は、価格改定の効果を含む利益率の改善や、販売費の削減等により186百万円（前年同四半期は263百万円のセグメント損失）となりました。

<プラスチック事業>

【中間財】

車輦内装用資材は、中国市場は苦戦しましたが、国内および北米市場においては自動車メーカーの生産回復とともに好調に推移しました。

フィルムは、国内外の流通在庫調整によりエレクトロニクス分野、医療・医薬分野が大きく低迷したほか、長引く欧州の景気低迷によりエクステリア用フィルムも伸び悩み、低調に推移しました。

建装資材は、市況が低迷する状況において、壁材が新柄投入効果により前年並みとなりました。

価格改定を含めた中間財の売上高は8,997百万円と前年同四半期に比べ208百万円の減収（前年同四半期比2.3%減）となりました。

【消費財】

防災対策商品は、国内向け救助用ボートの販売は好調でしたが、防災用エアーテント、米国向けボートが伸び悩み、低調に推移しました。

価格改定を含めた消費財の売上高は516百万円と前年同四半期に比べ100百万円の減収（前年同四半期比16.3%減）となりました。

プラスチック事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は9,513百万円と前年同四半期に比べ309百万円の減収（前年同四半期比3.1%減）となりました。

セグメント利益は、主にフィルム的大幅減収による粗利減の影響等により、前年同四半期に比べ542百万円減少の139百万円（前年同四半期比79.6%減）となりました。

<産業資材事業>

【中間財】

ウレタンは、車輛用が回復しましたが、寝具用は苦戦しました。

断熱資材は、ボード製品が持家の新設住宅着工件数の減少傾向を背景に苦戦するなど、低調に推移しました。

工業資材は、半導体分野向けウエハー搬送用部材が国内、海外向けともに低調に推移しました。

価格改定を含めた中間財の売上高は6,370百万円と前年同四半期に比べ12百万円の減収（前年同四半期比0.2%減）となりました。

【その他】を含む産業資材事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は6,624百万円と前年同四半期に比べ96百万円の減収（前年同四半期比1.4%減）となりました。

セグメント利益は、主にウレタンにおける価格改定の効果を含む利益率の改善等により、前年同四半期に比べ51百万円増加の254百万円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は84,351百万円で前連結会計年度末に比較して1,869百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は46,537百万円となり前連結会計年度末に比較して2,643百万円減少しました。これは主に、棚卸資産が1,162百万円、電子記録債権が389百万円増加しましたが、売掛金が2,611百万円、現金及び預金が1,752百万円減少したことによります。固定資産は37,813百万円となり前連結会計年度末に比較して774百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が443百万円、投資有価証券が298百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は26,562百万円となり前連結会計年度末に比較して950百万円減少しました。これは主に、短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金が1,048百万円、電子記録債務が230百万円、未払金が225百万円減少したことによります。固定負債は12,464百万円となり前連結会計年度末に比較して37百万円減少しました。これは主に、繰延税金負債が63百万円減少したことによります。

純資産の部は45,324百万円となり、前連結会計年度末に比較して881百万円減少しました。これは主に、為替換算調整勘定が175百万円、繰延ヘッジ損益が119百万円増加しましたが、利益剰余金が786百万円、自己株式の取得により391百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は53.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年8月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,887	5,135
受取手形	2,909	2,878
電子記録債権	5,884	6,273
売掛金	14,909	12,297
商品及び製品	10,913	11,462
仕掛品	1,915	2,143
原材料及び貯蔵品	3,954	4,339
その他	1,841	2,054
貸倒引当金	△34	△46
流動資産合計	49,181	46,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,685	11,936
機械装置及び運搬具（純額）	7,092	7,169
土地	4,166	4,166
建設仮勘定	1,799	1,933
その他（純額）	1,427	1,408
有形固定資産合計	26,171	26,614
無形固定資産	393	389
投資その他の資産		
投資有価証券	2,599	2,898
退職給付に係る資産	5,299	5,237
繰延税金資産	1,757	1,826
その他	869	896
貸倒引当金	△52	△50
投資その他の資産合計	10,474	10,808
固定資産合計	37,039	37,813
資産合計	86,220	84,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,065	13,016
電子記録債務	3,353	3,122
短期借入金	3,600	4,300
未払金	2,266	2,041
未払法人税等	244	126
その他	3,982	3,955
流動負債合計	27,512	26,562
固定負債		
長期借入金	7,500	7,500
繰延税金負債	502	439
退職給付に係る負債	4,056	4,084
資産除去債務	369	370
P C B廃棄物処理引当金	38	38
その他	34	31
固定負債合計	12,502	12,464
負債合計	40,014	39,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	4,097	4,097
利益剰余金	23,073	22,286
自己株式	△373	△765
株主資本合計	41,439	40,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281	374
繰延ヘッジ損益	△66	53
為替換算調整勘定	2,279	2,454
退職給付に係る調整累計額	2,271	2,181
その他の包括利益累計額合計	4,766	5,064
純資産合計	46,206	45,324
負債純資産合計	86,220	84,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	19,132	18,596
売上原価	15,313	15,253
売上総利益	3,819	3,342
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,532	1,431
広告宣伝費及び販売促進費	211	215
貸倒引当金繰入額	△21	10
給料手当及び福利費	1,401	1,353
退職給付費用	0	△0
旅費交通費及び通信費	90	100
減価償却費	111	131
その他	548	535
販売費及び一般管理費合計	3,876	3,777
営業損失(△)	△57	△435
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	19	17
持分法による投資利益	34	35
為替差益	259	160
不動産賃貸料	22	22
その他	76	47
営業外収益合計	414	285
営業外費用		
支払利息	8	11
支払補償費	3	3
その他	13	13
営業外費用合計	25	28
経常利益又は経常損失(△)	331	△178
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	4	-
特別利益合計	9	0
特別損失		
固定資産除却損	7	31
特別損失合計	7	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	333	△210
法人税、住民税及び事業税	66	138
法人税等調整額	133	△165
法人税等合計	200	△27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	133	△182
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	133	△182

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	133	△182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	92
繰延ヘッジ損益	80	119
為替換算調整勘定	731	152
退職給付に係る調整額	△97	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	85	22
その他の包括利益合計	773	297
四半期包括利益	907	114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	907	114
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,588	9,822	6,721	19,132	—	19,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	26	127	154	△154	—
計	2,588	9,849	6,849	19,286	△154	19,132
セグメント利益又は損失 (△)	△263	681	202	620	△678	△57

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△678百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,457	9,513	6,624	18,596	—	18,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20	188	209	△209	—
計	2,457	9,534	6,813	18,805	△209	18,596
セグメント利益又は損失 (△)	△186	139	254	207	△642	△435

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△642百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	シューズ事業	プラスチック事業	産業資材事業	
消費財	2,588	617	—	3,206
中間財	—	9,205	6,383	15,589
その他	—	—	337	337
顧客との契約から生じる収益	2,588	9,822	6,721	19,132
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,588	9,822	6,721	19,132

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	シューズ事業	プラスチック事業	産業資材事業	
消費財	2,457	516	—	2,974
中間財	—	8,997	6,370	15,367
その他	—	—	254	254
顧客との契約から生じる収益	2,457	9,513	6,624	18,596
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,457	9,513	6,624	18,596